

令和5年度 第13回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和6年2月6日（火） 14時00分から16時40分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、秦野教育次長、和泉議会事務局長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・令和6年度当初予算の編成作業が終わった。当初予算編成方針に則って積極的に要求していただき、査定したものもあるが、規模の大きな当初予算になる見込みである。各部局の取組に感謝したい。
- ・市民の皆さんに市の取組がしっかりと伝わっていないことが多くある。当初予算について、予算を認められて終わりではなく、どういう形で発表すれば市民の皆さんに取組が伝わるのかを考えて、発表資料や説明の仕方について工夫していただき、できるだけいい形で市民の皆さんに発表したい。もうひと踏ん張りをお願いする。

＜副市長＞

- ・多くの資料で議会審議における説明をしていくことになり、これらの資料間の整合性が取れていることが一つ大事になる。議会で説明をする向こう側に、市民や事業者がいる。そこに届くような資料でなければならない。予算や資料がしっかり説明できるように準備をお願いしたい。
- ・議会対応と並行して第1回定例会の間に、令和5年度の整理と、令和6年度に向けての準備もしなければならない。

＜教育長＞

- ・能登半島の震災に関する情報として、消防団員の数が足りずと非常に困るとの話を聞いており、ボランティアはすごく大事だと感じている。学校でも、今まではボランティアという名を借りた半強制的なボランティア活動を当たり前に行っていた。今は中学校でも見直し、本当にやりたい子どもたちが地域のニーズに応じてボランティアをすることに変わりつつある。そのことが地域の皆さんには好評であり、子どもたちが近い存在になり、また地域運営に関わる機会が増えることで喜ばれている。
- ・ボランティアをする気持ちがある子どもは、全校の中で5分の1くらいであるようだが、少しずつ増やしていき、地域にも愛着を持ってもらう機会になれば良いと思っている。

2 協議事項

(1) 組織機構の変更について

◇趣旨

- ・令和6年度組織機構の変更について協議するもの。

◇協議結果

- ・令和6年度組織機構の変更について了承する。

(2) 「いいだ未来デザイン2028 2024（令和6）年度戦略計画」等について

◇趣旨

- ・「いいだ未来デザイン2028 2024（令和6）年度戦略計画」等について協議するもの。

◇協議内容

【副市長】

- ・所管事務調査について報告した後、議会側はどう扱うのか。

【議会事務局長】

- ・所管事務調査について、しっかりと振り返りを行うようガイドラインでまとめた。そういった中で回答をいただいたもの。全協で報告していただき、詳細についてそれぞれの委員会で判断する。具体的はどうするかまでは、議論が出来ていない状況である。

【企画部長】

- ・細かい取組に関しては、委員会の審査の中で行うということ。

◇協議結果

- ・「いいだ未来デザイン 2028 2024（令和6）年度戦略計画」等について了承する。

3 報告事項

(1) 夜間当直業務委託事業の実施について

◇趣旨

- ・夜間当直業務委託事業の実施について報告する。

◇意見

(市長)

- ・委託業者としてどういった業者を想定しているか。

(総務文書課長)

- ・警備資格を有しており他自治体で実績のある業者を想定している。

(企画部長)

- ・宿直に各部から多くの業務依頼が集まってきている。その部分の整理をする必要があるため、調査の上見直しを行う。見直しに併せてオンライン手続きも出来るよう検討していただきたい。

(2) 令和6年飯田市議会第1回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和6年飯田市議会第1回定例会の付議案件について報告する。

(3) 令和5年度飯田市一般会計補正予算（第10号）案について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市一般会計補正予算（第10号）案について報告する。

(4) 桐林クリーンセンターの後利用及びリサイクルセンター事業の見直しについて

◇趣旨

- ・桐林クリーンセンターの後利用及びリサイクルセンター事業の見直しについて報告する。

◇意見

(5) 信州大学における「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に係る取組概要

◇趣旨

- ・信州大学における「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に係る取組概要について報告する。

◇意見

(市長)

- ・信州大学には、リニア駅構内や駅前広場での水循環や水素エネルギーなど、いろいろなアイデアがある。様々な可能性のある研究であり、産業経済部を始め全部局に関心を持っていただきたい。今後も大学から発出される資料などは部長会議を通じて共有をしていく。

(企画部長)

- ・信州大学との協議が始まったところ。関係する部局とは相談をしながら進めていきたい。

(6) いいだ障がい福祉プラン2024（飯田市障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画）（案）について

◇趣旨

- ・いいだ障がい福祉プラン2024（飯田市障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画）（案）について報告する。

(7) 飯田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について

◇趣旨

- ・飯田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について報告する。

(8) 健康いいだ21（第三次）飯田市健康増進計画（案）について

◇趣旨

- ・健康いいだ21（第三次）飯田市健康増進計画（案）について報告する。

◇意見

（市長）

- ・飯田市の健康課題について、2カ所に記載されているがどのような関係になっているか。（保健課保健指導係長）

- ・飯田市の健康課題は脳血管疾患と認知症が多い。その原因となるのが、肥満、高血圧、糖尿病といった動脈硬化に係る疾患であり、特に飯田市では高血圧が多いため特出ししている。

（市長）

- ・記載の工夫ができると良い。脳血管疾患と認知症は実際に現れている症状であり、予防するために特に大事なのが高血圧予防であるということであれば、その関係性が分かるように記載されていると受け止めやすい。
- ・市民の皆さんに自分事としてどうやって行動に移してもらおうかがとっても大事であり、市民に分かりやすく記載すること。

(9) 第2次飯田市自殺対策推進計画（案）について

◇趣旨

- ・第2次飯田市自殺対策推進計画（案）について報告する。

◇意見

（市長）

- ・自殺予防に何が本当に効果的なのかは分からないが、できることはできる限りやっていくことが基本的な姿勢。声が上がっているものをどれだけ汲み上げられるかが大事である。

（会計管理者）

- ・概要版はやわらく作成されていてとても良いが、「促進要因」という表現は、全体の記載と比較すると難しいため、表現の仕方を工夫すると良い。

（市長）

- ・言葉遣いは、「頑張れ頑張れ」と言われると逆に苦しくなる人もいるため、難しいところがある。専門家やアドバイザーなどに相談してみると良い。

（保健課長）

- ・協議会の場などで確認する。

(10) 飯田市国民健康保険第3期保健事業計画（データヘルス計画）（第4期特定健康診査等実施計画）（案）について

◇趣旨

- ・飯田市国民健康保険第3期保健事業計画（データヘルス計画）（第4期特定健康診査等実施計画）（案）について報告する。

◇意見

（市長）

- ・国保加入者ではないので自分には関係ないと思われるよりも、国保加入者ではない人であっても、自分にも当てはまるのではないかと見てもらえたほうが良い。メッセージとして国保加入者に絞らなくても

良いので、「加入者」の記載は取ることを検討すること。

(11) 地域経済活性化プログラム2024について

◇趣旨

- ・地域経済活性化プログラム2024について報告する。

◇意見

(議会議務局長)

- ・エンジョイスクエア等に対して事業者の参画を支援するとは具体的にどのようなことか。

(産業振興課長)

- ・教育委員会においてエンジョイスクエア事業を行っている。部活動に代わるものとして文化や体育を主として取り組んでいるが、そこに事業者が加わって、職業や企業の魅力を知ってもらいたいと考えている。

(12) 飯田市下水道事業経営戦略（令和6年度改定版）

◇趣旨

- ・飯田市下水道事業経営戦略（令和6年度改定版）について報告する。

◇意見

(市長)

- ・上下水道運営審議会において質問等はあったか。

(経営管理課長)

- ・今後の収支見込みについてどのような考えかについての質問があったが、意見は特になかった。

(13) 飯田市議会全員協議会（2/19）における報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（2/19）における報告事項について報告する。

(14) 飯田市議会各委員会協議会における報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会各委員会協議会における報告事項について報告する。

4 その他、連絡事項

(1) 令和6年度 庁議等予定表について（企画部）

(2) 伝票返戻調査実施に伴う返戻状況について

(会計管理者)

- ・全体では伝票率4.55%であり前年同時期よりは高いが、前回よりは低くなっている。職員の皆さんに努力していただいた結果と思っている。
- ・返戻理由として、債権者、振込口座、支出金額誤りといった重大なものが依然としてある。会計年度任用職員が伝票を作成する部署も多いかと思うが、係長、課長がよく確認していただくようお願いする。
- ・これから年度末を迎えるが、自分のところは大丈夫という思い込みは捨てていただき、歳入歳出の執行状況を確認していただきたい。
- ・光熱水費や通信運搬費を口座引落で支払っている部署があるが、残高不足が1部署でもあると、全庁的に口座引落ができなくなる。既に1月にそういった事案が発生している。支出科目が間違っていたので残高が足りなくなったとの回答をもらっているが、注意していただきたい。

(企画部長)

- ・金額誤りなど大きな間違いもある。どのような内容で返戻されたかを確認し、その対策を共有しておくことが大切である。

5 閉会